

2020 年度 帰国隊員/青年支援プロジェクト 実施報告書 提出日 2022 年 12 月 22 日		
氏名: 堀江早喜	実施国: 日本	協力活動: 調査研究
活動名称	JOCV 栄養士隊員 (OG・OB 含む) ネットワーク構築とマニュアル作成に向けたアンケート調査研究	
実施期間	2020 年 7 月～2022 年 12 月	
(1) 申請した動機		
<p>JOCV 栄養士ネットワークの活動のひとつとして、日本栄養改善学会に協力隊 OG・OB を講師として招き「国際協力における栄養分野の活動」として研究自由集会を開催している。それら OG・OB や会場の参加者と情報交換をする中で、「派遣国についての食事情を共有し事前に知ることができたらよかった」、「基本的な食生活におけるマニュアルが必要であった」との声があった。</p> <p>そこで、この情勢 (COVID-19) により派遣中断や延期を余儀なくされている隊員が国内にいるという現状を何か活かすことはできないかと思案し、栄養士隊員 (OG・OB 含む) にアンケート調査を行い、情報の共有 (派遣中⇔OG・OB のパイプ役)、およびアンケート結果を踏まえて必要なマニュアル作成を実施するため申請に至った。</p>		
(2) 活動内容概要		
① アンケート調査		
<p>2021 年 5 月から 2022 年 2 月まで、JICA 海外協力隊経験者や国際協力関心者向けの会員 SNS 「jocaDomi」、および JOCV 栄養士ネットワークが実施する帰国隊員報告会に参加された方を対象に、任国の離乳食に関するアンケートを実施した。</p> <p>結果を集計し、第 22 回国際栄養学会議 学会 (2022 年 12 月 6-11 日) において発表した。(別添: ポスター [22nd IUNS-IGN_PosterHORIE SAKI])</p>		
② マニュアル作成 (リーフレット)		
<p>アンケートの結果を踏まえ、回答の多かった国際機関を中心に掲載し、任国でも参考にできる内容とした。</p> <p>JOCV 栄養士課題別訓練に参加の機会を得ることができ、派遣前の隊員へ提供することができた。(別添: PDF 国際栄養情報一覧)</p>		
③ ネットワーク構築		
<p>①、②を通し派遣前、派遣中、帰国隊員との交流を活発に実施でき、今後の取組に向けた課題を得ることができた。</p>		
④ 類似の学術集会への参加		
<p>日本栄養改善学会の他、日本公衆衛生学会においては、母子保健や統計の手法を、また ACD アジア栄養士会議においては国際保健の動向や関連機関に関する新たな知見を得ることができ、で今回のプロジェクトにかかるアンケート作成や統計、マニュアル作成に有益であったため、参加の意義は大きい。</p>		

(3) 活動の成果・苦勞した点・反省点等

アンケートは 40 名から回答を得ることができた。また、その結果を国際学会で発表することができたことは、JICA の活動や草の根で活躍する隊員の現状を多くの方々に知っていただく良い機会となった。

COVID-19 の影響による JICA 図書館の使用制限や国際学会の延期により、本調査活動も延長した。また、連絡の取り方や情報収集に時間がかかり、計画通りに進まないことが多かった。これらの問題に対し、JOCV ネットワーク関係者からの情報収集や JICA 現地事務所に連絡を取ることで、進まなかった問題も少しずつ解決することができた。国際学会の延期はその期間を有効に活用することができたため、アンケートの回収を増やすことができた。

また、栄養士隊員の要請内容や活動の幅が広く、今後の課題として地域別(アフリカ、中南米等)、対象者別(妊産婦、病態別、幼児等)の情報を蓄積し、マニュアルや参考資料の作成が必要であると実感した。

(4) 今後のプラン

JOCV 栄養士ネットワーク活動の一環として、マニュアルや参考資料に関する情報収集を実施し、課題としてあげられた地域別や対象者別のマニュアル作成を継続していく。

今回作成した PDF 国際栄養情報一覧は、有識者の先生方のご意見を伺いながらアップデートしていく。